

— 2025年度 消化器内視鏡専門医(*) 申請書提出について —

*本学会は2004年6月に厚生労働省から専門医資格認定団体として認可されました。消化器内視鏡専門医として広告が可能です。

提出物: 1. **専門医申請書 Excel**
※オンライン申請 2-1. **専門医研修カリキュラム** (※2015年以前 医師免許取得者のみ)
2-2. 「**専攻医カリキュラム登録システム**」の研修修了(※2016年以降医師免許取得者)

提出方法: 専門医申請ポータル内 (※オンライン申請)

申請エントリー締切: 2025年2月末日

* 締切以降はシステムでのエントリーができませんのでご注意ください。

エントリー後、申請ポータル上で申請書の提出が必要となりますのでご注意ください。

提出締切: 2025年3月末日

* 締切以降はシステムでの申請受付ができませんのでご注意ください。

また万一、申請内容に不備があった場合、訂正のご対応ができるよう、期日前に余裕をもってお出し下さい。

● 申請書について;

- * 申請書の記載にあたって虚偽の申告、証明書の捏造などは絶対にしないこと。万が一不正が発覚した場合は、本学会懲罰委員会に諮り、厳正な処分を致します。
- * **申請前に必ず会員管理システムの会員情報を確認し、修正をお願い致します。**
- * **主要履歴**の学歴は医学部卒からで結構です。職歴は、出向先を含む場合は状況がわかるように記載して下さい。
例・「2016年4月～2018年3月 △△市立病院 内科 勤務 (○○大学関連病院・派遣出向)」等
- * **学会活動の業績ポイントの登録は会員管理システムから行います。**
登録方法については『会員管理システム 学会活動登録の手順』をご参照下さい。
- * 推薦書の捺印は認印、シャチハタなどのゴム製印章でも結構です。捺印漏れにご注意下さい。
- * **診療実績表**はご本人の**指導施設又は指導連携施設**での**内視鏡施行数を可能な限り正確に記載してください(最低でも十の位まで)**。申請基準(上部:1点/1件、下部:5点/1件 合計して1,000点以上、治療:10点/1件 合計して200点以上)。施設が複数に亘る場合は施設ごとにページを分けて下さい。指導施設、指導連携施設以外で施行した検査や、認定期間外に施行されたものについては審査対象に含まれませんので除外して下さい。指導施設と指導連携施設については本学会ホームページで公開していますのでご参照下さい。
(URL: <https://www.jges.net/medical/specialist/instruct-list>)
※(2016年以降 医師免許取得者のみ)⇒ ご入会前、初期研修期間、基本領域研修1年目の実績はカウント不可となります。
※1つの施設で基準を満たしている場合には、全施設分の記載は必要ございません。
- * **内視鏡治療症例要約**は、**指導施設又は指導連携施設で施行された症例**に限ります。病理欄は生検等されなかったものについては空欄で構いません。なお 20例の中には、①**切除術(ポリペクトミー、EMR、ESD)**、②**止血術**、③**狭窄拡張・ステント挿入** の3手技を必ず1例以上含むようにして下さい。部位は問いません。
- * 「**消化器内視鏡研修証明書**」について
2015年以前 医師免許取得者 ⇒ **研修期間が合計で5年以上**となるように、それぞれの施設の研修期間をご記載下さい。(必要な5年分あれば余剰分は記載不要です)。
2016年～2019年医師免許取得者 ⇒ ご記入不要となります。
- * **※(2016年以降医師免許取得者のみ)**「**専攻医カリキュラム登録システム**」については、2025年3月末までに全ての項目が修了していることが条件となります。(達成率100%であること) **※ご入会前、初期研修期間、基本領域研修1年目の実績はカウント不可となります。**
- * **※(2015年以前 医師免許取得者のみ)**Excel 申請書のほかに別途「**専門医研修カリキュラム**」のアップロードが必要です。ひな形のダウンロードは以下のリンクを参照ください。
(URL: <https://www.jges.net/medical/specialist/curriculum>)

- 書類審査の結果発表;

2025年6月下旬までに、全員に専門医申請ポータルを通じて行います。

- * すべての連絡はエントリー時に登録のE-Mailに行いますので、くれぐれも正しいアドレスの登録をお願いいたします。
- * 7月上旬までに通知が届かない場合は、必ずご連絡下さい! 試験後にお申出頂いても応じられません。

- 受験料と認定料について;

- * 受験料(15,000円)・認定料(20,000円)の支払いは会員管理システム上にて行います。
- * **受験料・認定料の会員管理システム上でのお支払いにはクレジットカードが必要になります。**
クレジットカードでのお支払いが不可能な方は事務局までご連絡ください。
(E-Mail senmoni@jges.or.jp)
- * 受験料のお支払いは、通知が届きましたら、お早めをお願いいたします。
受験料のお支払いがない場合は、受験取消とみなされます。期限までの支払いをお願いいたします。
- * 納入された受験料はいかなる理由があっても返還いたしません。
- * 認定料(20,000円)につきましては、試験合格された方に、改めて請求させていただきます。

- 試験について;

- * 2025年7月20日(日) CBT方式にて実施予定

* 試験は書類審査を通過した方のみ受験できます。

【問合せ先】 日本消化器内視鏡学会(専門医申請係) TEL 03-3525-4670 E-Mail senmoni@jges.or.jp

次ページに続く

1. 認定基準について

出席、講演、論文の総合点数を合計して、5年間で50点以上が認定基準となっておりますが、50点の内訳として以下の条件を満たす必要があります。

- 本学会分総点数の合計が30点以上であること。
- 学会セミナー・支部セミナーのいずれかの出席回数が最低1回5点以上であること。

※ なお本年度の申請は2020年3月～2025年2月の業績が有効となります。休会等の特別な理由がない限り、期間外のものは一切受け付けられませんのでご注意ください。2025年3月以降の見込み業績も認められません。

※ ご入会前の(総会参加等の)業績はカウント不可となります。

* お持ちのポイントが多い場合、講演、論文情報の登録は認定基準・条件を十分満たす分だけ登録し、余剰分は不要です。
(例えば出席点だけで基準をクリアしている場合は論文・講演情報などの登録は不要です。
確認の必要があればこちらから折り返しご連絡しますので、その際にはご準備下さい。)

2. 内視鏡学会付置研究会について

出席ポイントとして追加できる付置研究会は、学会総会と別期間中に行われたものに限ります。

3. 学会指定関連他学会について(各3点)(※総会・地方会に限る)

1. 日本内科学会
2. 日本外科学会
3. 日本消化器病学会
4. 日本癌学会
5. 日本癌治療学会
6. 日本肝臓学会
7. 日本消化器外科学会
8. 日本消化器がん検診学会
9. 日本膵臓学会
10. 日本胆道学会
11. 日本医学放射線学会
12. 日本気管食道科学会
13. 日本生体医工学会
14. 日本核医学会
15. 日本大腸肛門病学会
16. 日本消化吸収学会
17. 日本超音波医学会
18. 日本画像医学会
19. 日本臨床外科学会
20. 日本レーザー医学会
21. 日本内視鏡外科学会
22. 日本病理学会
23. 日本外科系連合学会
24. 日本消化管学会
25. 日本胃癌学会
26. 日本食道学会
27. 日本ヘリコバクター学会
28. 日本がん検診・診断学会
29. 日本人間ドック学会
30. 日本総合健診医学会
31. 日本消化器癌発生学会
32. 日本潰瘍学会
33. 日本門脈圧亢進症学会
34. 日本高齢消化器病学会
35. 日本大腸検査学会
36. 日本カプセル内視鏡学会
37. 日本小児科学会
38. 日本救急医学会
39. 日本臨床検査医学会
40. 日本小腸学会

エクセル申請書記載方法

推薦書(指導医署名)

推薦書(指導医署名)

指導医の自筆署名（署名日）のある推薦書の画像を貼付してください。

注) 内容に不備があった場合、再提出をお願いすることがありますので、
ファイルは大切に保管してください。

推薦書のひな形は本エクセルとともにzipファイルに圧縮されています。

署名・捺印済みの推薦書を貼付してください。

ここに推薦書の画像を貼付してください。

推 薦 書

(西暦 2024 年 2 月 1 日)

被推薦者氏名	学会 太郎	
--------	-------	---

上記の者を日本消化器内視鏡学会専門医として推薦上記専攻医が、該当指導施設・指導連携施設において、不正なく、下記申請条件を満たしていることを、全責任を持って証明します。

- ・「消化器内視鏡診療実績」(上部 1 件/1 点、下部 1 件/5 点⇒合計して 1,000 点以上)を満たしている。
 - ・「消化器内視鏡治療症例要約 20 例」(①切除術 (ポリペクトミー・EMR・ESD)、②止血術、③狭窄拡張術・スラント挿入の 3 手技を必ず含んでいる)を満たしている。
 - ・指導施設・指導連携施設において、所定の研修期間を修了している。
- ※申請の記載にあたって虚偽の申告、証明書の捏造など、万が一不正が発覚した場合は、本学会懲罰委員会に諮り、厳正な処分を致します。

推薦者氏名 (指導医)	指導 太郎	
所 属	〇〇大学付属病院	
部 署	第 1 内科	
役 職	内視鏡センター長	

資格認定証

[専門医申請]

資格認定証 (PDF,写真等) 貼付

該当資格

- | | | | | | |
|----------------------------------|-----------|-----------------------|-----------|-----------------------|-----------|
| <input checked="" type="radio"/> | 1.認定内科医 | <input type="radio"/> | 2.総合内科専門医 | <input type="radio"/> | 3.内科専門医 |
| <input type="radio"/> | 4.外科認定登録医 | <input type="radio"/> | 5.外科専門医 | <input type="radio"/> | 6.小児科専門医 |
| <input type="radio"/> | 7.放射線科専門医 | <input type="radio"/> | 8.救急科専門医 | <input type="radio"/> | 9.臨床検査専門医 |

※○をつけた資格認定書のうち1つを、下にある該当資格ページに貼り付けてください。

ここに認定証の画像を貼付してください。

資格証

貼付した資格証に対応するものに○をつけてください。

お持ちの基盤学会の資格証のうち1つの画像を貼付してください。

医師免許(PDF,写真等)貼付

[④医師免許]

医師免許 (PDF,写真等) 貼付

ここに医師免許を貼付してください。

医師免許証の画像を貼付してください。

医師免許の画像

消化器内視鏡診療実績表

[⑤-1診療実績表]

消化器内視鏡診療実績表

施設 1

- ・指導施設または連携施設での内視鏡検査施行数（施設全体ではなく、申請者自身）内視鏡検査施行件数を記入してください。
 - ・指導が複数にまたがる場合は、それぞれの施設ごとにページを分けて記載すること。
- ただし、1つの施設で基準を満たしている場合、全施設分の提出は不要。

		検査回数	実績点	総得点			
診 断	上部消化管	851 例	851 点	1,311	点		
	下部消化管	92 例	460 点				
治 療 *	上部消化管	22 例	220 点	300	点		
	下部消化管	8 例	80 点				
	その他の手技	治療名	件数			治療名	件数
			例				例
			例				例
			例				例
		例		例			
			0 点				

研修期間 2015 年 04 月 ~ 年 月 (西暦年・月)

指導施設 No. 00999999

指導施設名 XXXXX病院

研修期間、指導施設 No.、指導施設名を記入してください。
指導施設の一覧、指導施設 No.の確認は以下の URL を参照してください。
施設の認定期間のみ記載してください。

<https://www.jges.net/medical/specialist/instruct-list>

消化器内視鏡研修証明書

※2016年以降 医師免許取得者の方は本シートへの入力は不要です。

(シート全体がグレーになります。)

[⑦消化器内視鏡研修証明書]

消化器内視鏡研修証明書

指導施設 No.、指導施設名を記入してください。
指導施設の一覧、指導施設 No.の確認は以下の URL を参照してください。

<https://www.jges.net/medical/specialist/instruct-list>

上記の者が本施設において消化器内視鏡研修を行った

(西暦) 2024 年 02 月 20 日

指導施設 No. *1 00000001

指導施設名 *1 ○○大学 医学部付属病院

期 間

常勤

(西暦) 2019 年 05 月 より (西暦)

施設の認定期間のみ記載してください。
本例ではこの施設だけで5年以上あるため、他の施設での研修証明は不要です。

非常勤 *2

(西暦) 2018 年 04 月 より (西暦) 2019 年 03 月 まで

卒後臨床研修

(西暦) 2014 年 04 月 より (西暦) 2016 年 03 月 まで

備 考 (非常勤の場合のみ記載)

研修時の身分

- ①後期研修医として
- ②非常勤医として

勤務形態・研修頻度など

- ①週1回内視鏡研修 (月火水金は△△病院へ出向)
- ②週5日、日常の診療に従事した

注 *1: 研修が複数の指導施設にまたがる場合はページを分けて記載すること (合計5年以上)。

*2: 非常勤の場合は、備考欄に身分および研修形態を明記すること (例・研修生として週に一度の勤務、など)。

また単一施設で常勤と非常勤両方の期間がある場合は、それぞれの期間を分けて記載すること。

日本消化器内視鏡学会 専門医申請 チェックリスト

以下はよくある不備についての注意点です。書類を送付する前に、・でご確認下さい。

- 会員管理システムについて
 - 「基本情報」に最新の情報が正しく登録されていますか？
 - 「学会活動情報」に必要な単位数分業績の登録がされていますか？
 - 「主要履歴」に医学部卒からの学歴・職歴の登録がされていますか？
- 申請書について
 - 「推薦書」シートには推薦書の画像が添付されていますか？
 - 「推薦書」シートに添付の推薦書は、本学会認定の指導医の方からのものですか？(要自筆署名・捺印)
 - 「専門医申請」シートには取得済の基盤学会の資格(認定内科医、総合内科専門医、内科専門医、外科認定登録医、外科専門医、小児科専門医、放射線科専門医、救急科専門医、臨床検査専門医)に○をつけ、そのうち1つの資格認定書の画像データを該当資格ページに添付しましたか？
 - 「医師免許」に医師免許の画像データが添付されていますか？
 - 「診療実績表」の診断、治療件数はそれぞれ基準を満たしていますか？
 - 「内視鏡治療症例要約」には20件記載されていますか？
 - 「内視鏡治療症例要約」には①切除術(ポリペクトミー、EMR、ESD)、②止血術、③狭窄拡張・ステント挿入の手技区分が網羅されていますか？
 - ※2015年以前 医師免許取得者のみ。「消化器内視鏡研修証明書」に5年間以上の研修期間の情報が記載されていますか？
 - ※2015年以前 医師免許取得者のみ。「消化器内視鏡研修証明書」に記載された期間は施設の認定期間内ですか？
- 専門医研修カリキュラムについて ※2015年以前 医師免許取得者のみ。
 - 全ての項目に自己評価を記載していますか？
 - 全ての項目に指導医の署名または捺印がされていますか？
 - 指導医署名欄に指導医の署名または捺印がされていますか？
- 「専攻医カリキュラム登録システム」について ※2016年以降 医師免許取得者のみ。
 - 全ての研修項目を完了し、指導医より承認をいただいていますか？
 - 達成率が100%になっていますか？

以上

I 出席		出席	備考	
本学会分	学会総会	10		
	支部例会	5		
	学会セミナー※	7	※指導医申請・更新時「学会セミナー」必須。	
	支部セミナー※	5	※専門医申請・更新時どちらか1回以上必須。 ※2022年度より、所属支部以外のセミナーは業績付与されません。	
	重点卒後教育セミナー	5	※2022年度より、e-learning形式のみ。	
	消化器内視鏡ハンズオンセミナー	2	関連の業績ポイントは5年間で10点までとする。	
	内視鏡学会共催ライブセミナー	5		
	内視鏡学会付置研究会（総会と別期間中のものに限る）	3		
	ENDO-World Congress of GI Endoscopy	5		
関連学会分	日本医学会総会	3		
	医師会教育講演（消化器関係）	2		
	国際学会（消化器及び内視鏡）	10		
	学会指定関連学会及び地方会※	3	※記入要項P3（項目5）記載の40学会に限る	
	EMR/ESD 研究会	2		
	大腸IIc研究会	2		
	拡大内視鏡研究会	2		
	食道色素研究会	2		
	内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会	2		
	大腸ステント安全手技研究会	2		
	JDDW 教育講演(半日)	4		
	JDDW 教育講演(一日)	8		
II 講演		演者	司会	共同演者
本学会分	(学会総会) 一般演題	5	2	2
	(学会総会) シンポ・パネル	8	5	8
	(学会総会) ワークショップ	5	5	2
	(学会総会) 特別講演	8	5	-
	支部例会	3	2	2
	学会セミナー	5	3	3
	支部セミナー	5	3	3
	重点卒後教育セミナー	5	3	-
	内視鏡学会共催ライブセミナー	3	3	-
ENDO-World Congress of GI Endoscopy	総会の配点区分に準ずる			
関連学会分	日本医学会総会	5	1	-
	医師会教育講演（消化器関係）	2	2	-
	国際学会（消化器及び内視鏡関係）	3	2	1
	学会指定関連学会及び地方会	2	-	1
	EMR/ESD 研究会	1	-	-
III 論文		筆頭	共著	-
本学会分	日本消化器内視鏡学会雑誌	10	2	-
	日本消化器内視鏡学会雑誌(Video Communication)	5	1	-
	Digestive Endoscopy/DEN Open (Original Article, Review Article, How I Do It, Techniques and Innovation, Editorial)	20	5	-
	Digestive Endoscopy/DEN Open (Case Report, DEN Video Articles)	15	3	-
	Digestive Endoscopy (Letters, Techniques and Images)	10	2	-
関連学会分	消化器内視鏡関連国内論文	2	1	-
	消化器内視鏡関連外国論文	5	1	-